

# おむすびだよ♪



いかん、あかん セリフが… このままだと 未完(みかん)になる… !

よいことを思(おも)いついた♪ うっしっし…

カブのスカウトたちに考(かんが)えさせよう♪

ん！我(われ)ながらグツとなアイデアじゃ♪

やれやれ あぶなくみずのあわじゃったわい





## 左利(ひだりき)きの君(きみ)へ

[ もし、君(きみ)が左利(ひだりき)きなら ]

世(よ)の中(なか)、右利(みぎき)きの人(ひと)の方(ほう)が多(おお)いから  
道具(どうぐ)や、その道具(どうぐ)を使(つか)う動作(どうさ)などが、  
右利(みぎき)きの人(ひと)向(む)けになっていることが多(おお)いよね。

だから、左利(ひだりき)きの君(きみ)にとっては、ちょっと戸惑(とまど)って  
しまうこともあるだろう。

どうしたら、上手(じょうず)に道具(どうぐ)などが使(つか)えるか  
左利(ひだりき)きの君(きみ)は、右利(みぎき)きの人(ひと)より、  
考(かんが)えたり、工夫(くふう)したりすることになる。



頭(あたま)をたくさん使(つか)うことになる。人(ひと)より練習(れんしゅう)もする。

手(て)や指先(ゆびさき)をこんなにも器用(きよう)に使(つか)うのは、  
人間(にんげん)ぐらいです。

脳(のう)の発達(はったつ)には、手(て)や指先(ゆびさき)を使(つか)うこと  
がとってもよいのです。

左利(ひだりき)きの君(きみ)は、  
左(ひだり)も使(つか)うし、右(みぎ)も使(つか)う。  
考(かんが)えたり、工夫(くふう)できるスカウトになる。



みんなより、ちょっと得(とく)しているんだよ♪

左利(ひだりき)きのスカウトも  
右利(みぎき)きのスカウトも  
リーダーも

がんばれ～♪



結索 (けっさく) だ〜♪ けっさくだ〜♪ けっさく けっさく けっさくだ〜♪



けっさくだ〜♪ けっさくだ〜♪ けっさく けっさくだ〜♪

右手 (みぎて) に端 (はし) だ けっさくだ けっさくだ

ロープの元 (もと) を 手繰り (たぐり) 寄せ (よせ)



形 (かたち) を覚え (おぼえ) 手順 (てじゆん) を踏めば (ふめば)

けっさくだ〜♪ けっさくだ〜♪ けっさく けっさく けっさくだ〜♪

傑作 (けっさく) なら♪ 笑え (わらえ) わっは わっはっは〜♪

簡単 (かたん) だ〜♪ かたんだ〜♪ かたん かたん かたんだ〜♪

かたんだ〜♪ かたんだ〜♪ かたん かたんだ〜♪

耳 (みみ) と耳 (みみ) で 本結び (ほんむすび) ほんむすび



耳 (みみ) と輪 (わ) で 一重継ぎ (ひとえつぎ)

結び目 (むすびめ) ・交差 (こうさ) を 観察 (かんさつ) すれば



かたんだ〜♪ かたんだ〜♪ かたん かたん かたんだ〜♪

感嘆 (かたん) なら♪ 感心 (かんしん) よ ほう ほうほう〜♪



絶対 (ぜったい) 守 (まも) って欲 (ほ) しいこと ※ リーダーやお家の方と読んでね♪

ロープの輪の中に入らない 跨 (また) がない 踏 (ふ) まない 不意 (ふい) にロープが引っ張られると”危険 (きけん)”です。また、物を吊 (つ) り揚 (あ) げている下などに入らない ロープが切れたら、物が落ちるなどして”危険”です。

ロープに急激な荷重・力が加わるような使い方はしない。スパンと切れて”危険”です。

岩や角材など角張ったところでは、当て布をしないと、ロープが切れて”危険”です。

スカウト訓練用のロープでは、ぶら下がらない。(耐荷重が十分ではないので”あぶない”。)

いたずらや、わるふさげに使 (つか) わない。首 (くび) などにかけて引っ張 (ひっぱ) るるととてもキケンです。絶対にしないでね！人が通 (と) るところでは伸 (の) ばさない。ロープが張 (は) っているところでは走 (はし) らない。

人や物が倒 (たお) れるなどして、とってもキケンです。

ロープはよいことに使 (もち) ましょう♪



りす

うさぎ

しか

くま(月の輪)

はじまりはここから



お〜い こっち こっち おいでよ〜♪

テープで  
端(はし)の  
ほつれを  
防(ふせ)ぐ

P.2



えび 結び

P.6



とめ 結び  
止め むすび

P.3



ゆうじょうのきずなを かたくむすぶ  
友情の絆を固く結ぶ



ひと 結び  
一 むすび

P.11

ほん 結び  
本 むすび

P.7



ふた 結び  
二 むすび

P.12

ひきとけ 結び  
引き解け むすび

P.4

はな 結び  
花 むすび

P.8



はちのじ 結び  
8の字 むすび

P.5

自分(じぶん)のことは自分でします  
御結び(おむすび) 握(にぎ)っちゃう♪

「結ぶ(むすぶ)」には、  
形(かたち)を作る(つくる)  
という意味(いみ)もあるんだ。

僕(ぼく)は、お山(やま)の  
形(かたち)に生(う)まれ  
たんだ♪



ひとえ 継ぎ  
一重 つぎ

P.9

もやい 結び  
舫い むすび



P.10

# テープでほつれどめ

(テープで解れ止め)


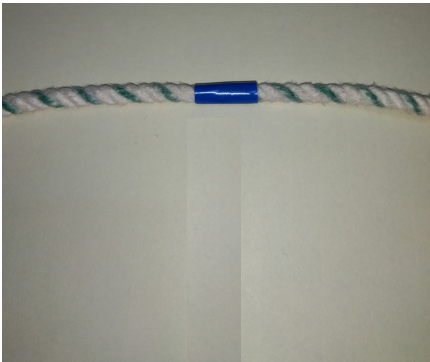



ほつれちゃう  
どうしたらいいのかな・・・？



セロテープを巻(ま)いたり  
とめ結(むす)びをして  
おくと  
いいよ♪



		
① 切(き)るところを決(き)めて	② テープを巻(ま)く	③ はさみを入(い)れて切(き)る

※この図(ず)では、色付(いろつ)きのテープだけど、お家(うち)にある 普通(普通)のセロテープ でいいよ♪  
テープの幅(はば)が短(みじ)か)いときは、すぐ隣(となり)にもう一回(いっ)かい巻(ま)いて、テープとテープの間(あいだ)を切(き)るんだ♪



はさみを使(つか)うときは、  
自分(じぶん)や、周(まわ)りの人(ひと)がケガ(けが)をしないよう  
気(き)を付(つ)けてね♪

囃子(はやし)

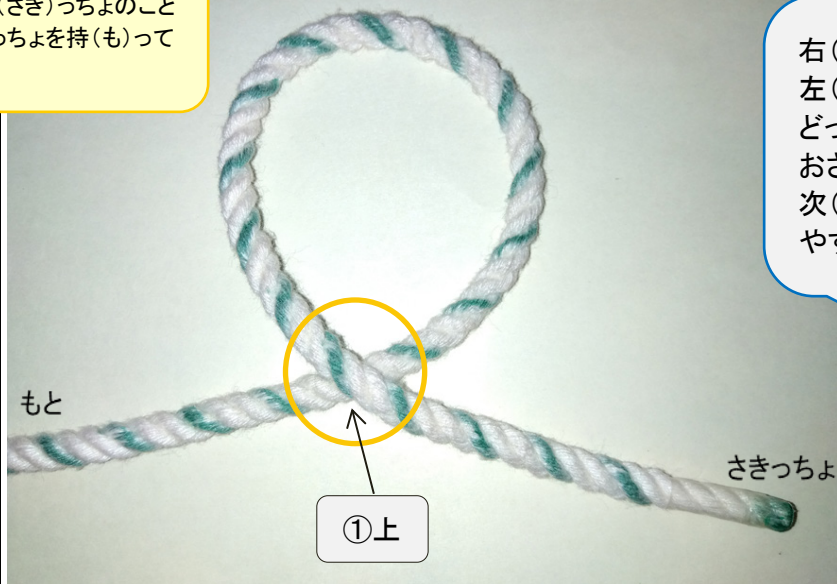
とめむすび (止め結び)

右手(みぎて)に 端(はし)  
 ↑先(さき)つちよのこと  
 右手(みぎて)に先(さき)つちよを持(も)って  
 はじめよう♪

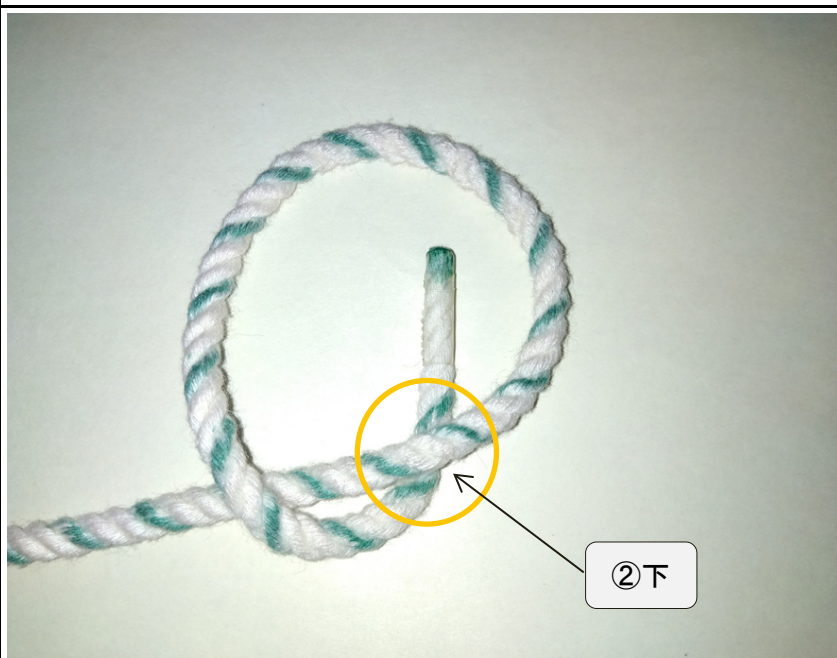
右(みぎ)の指(ゆび)  
 左(ひだり)の指(ゆび)  
 どっちで  
 おさえたら  
 次(つぎ)、動(うご)き  
 やすいかな？



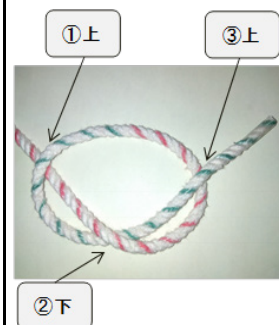
みぎうえ  
 ばってん  
 (おさえて)

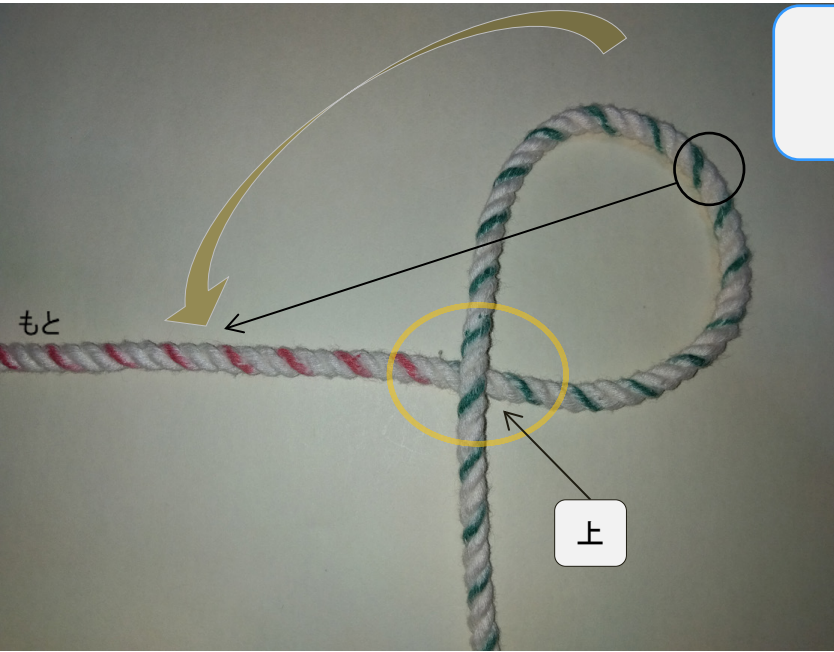

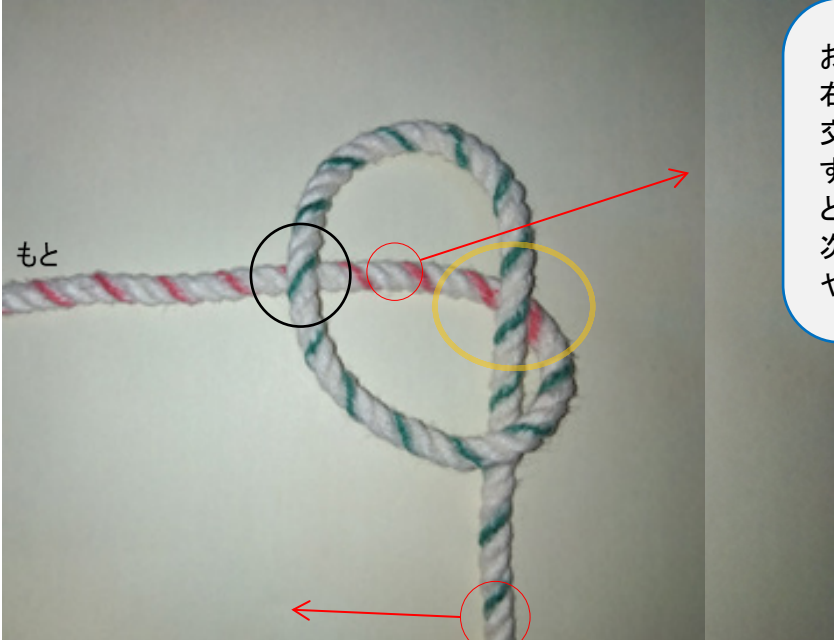






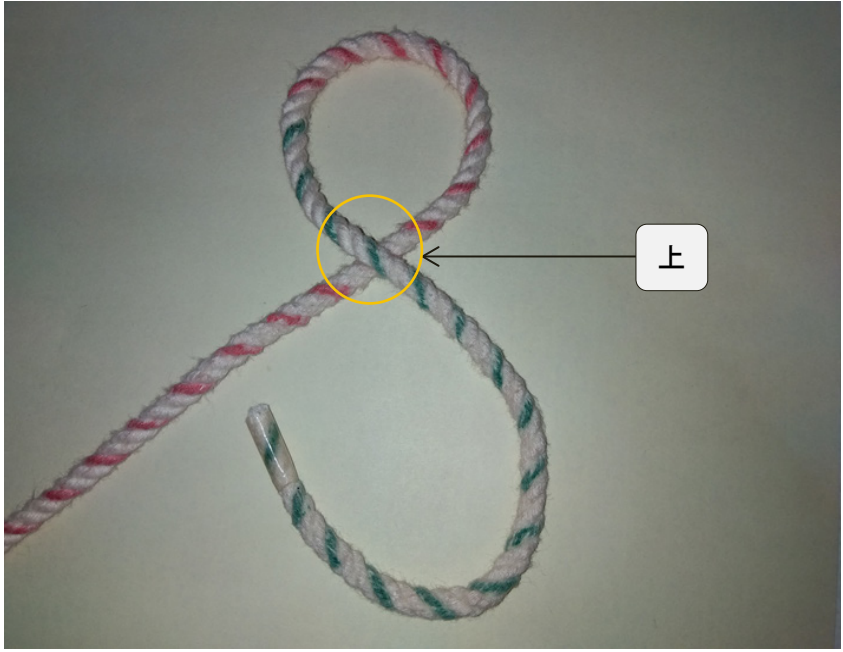
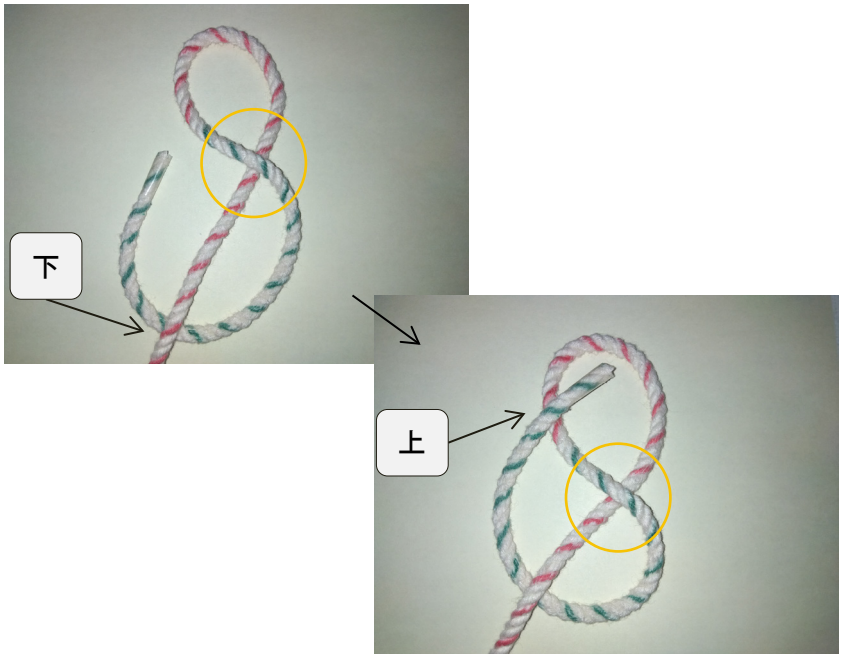


(くぐって)  
 ぐるりん

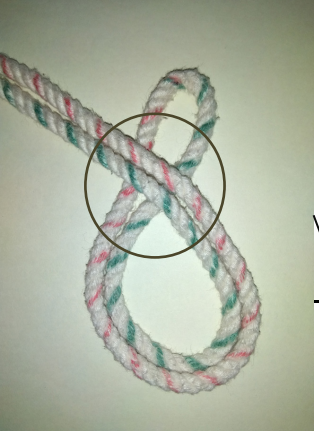
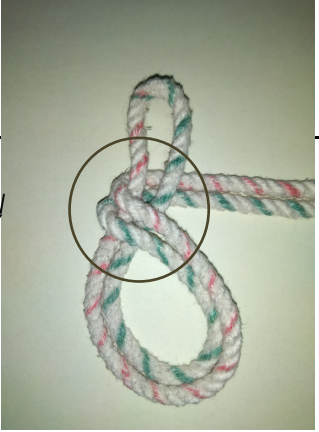



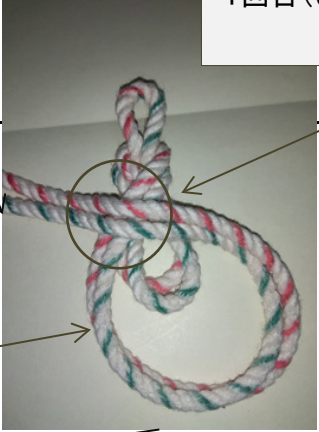
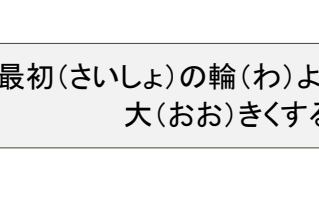
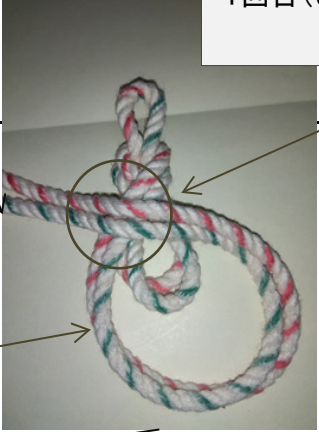


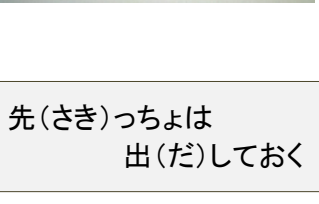




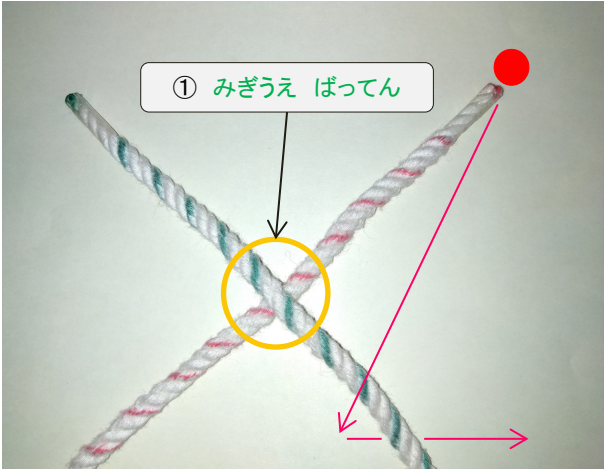
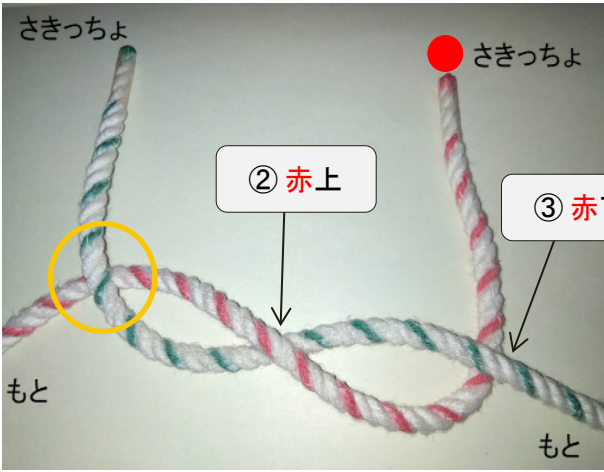
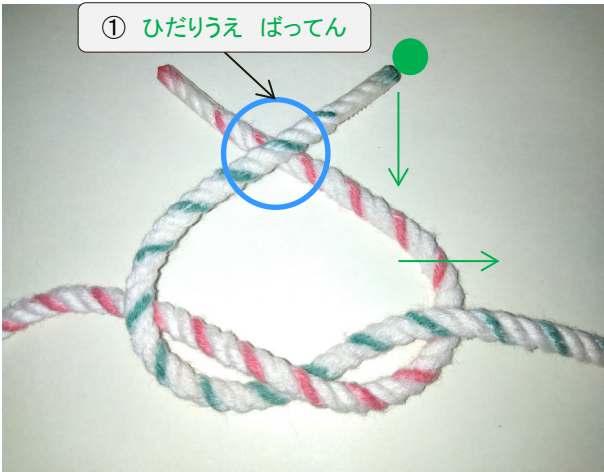

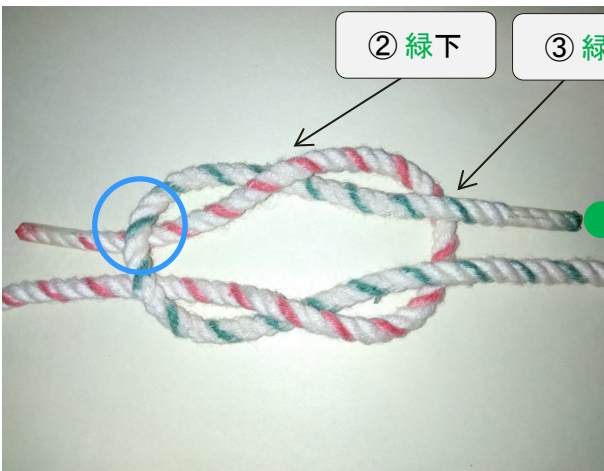

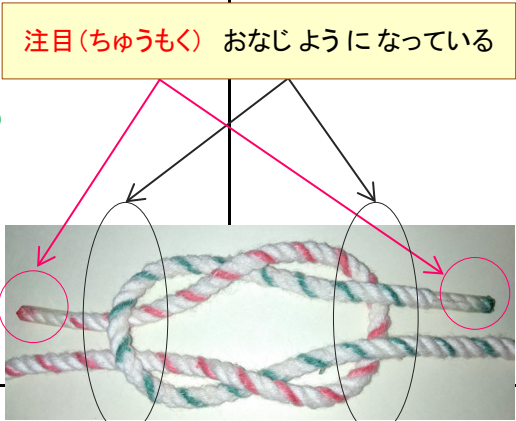
こ ♪

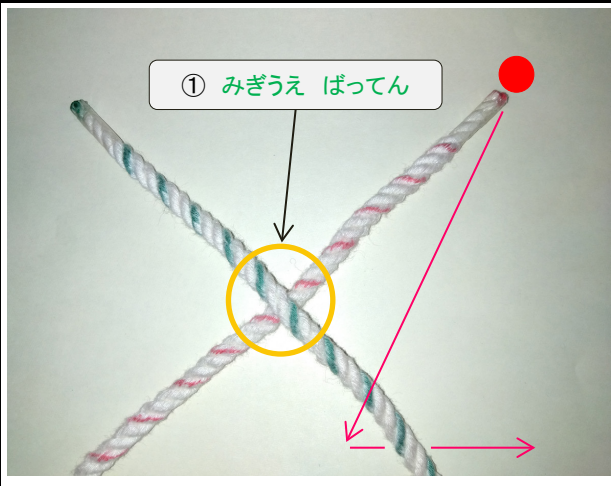

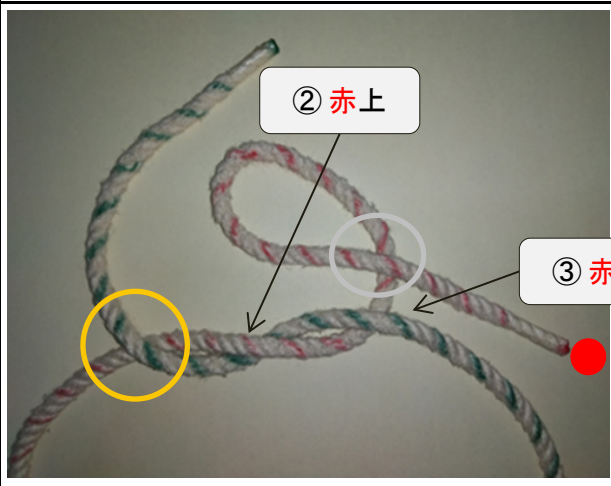

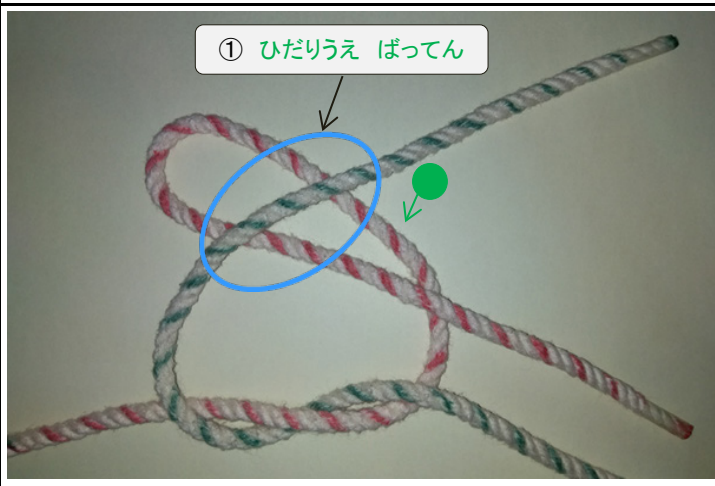

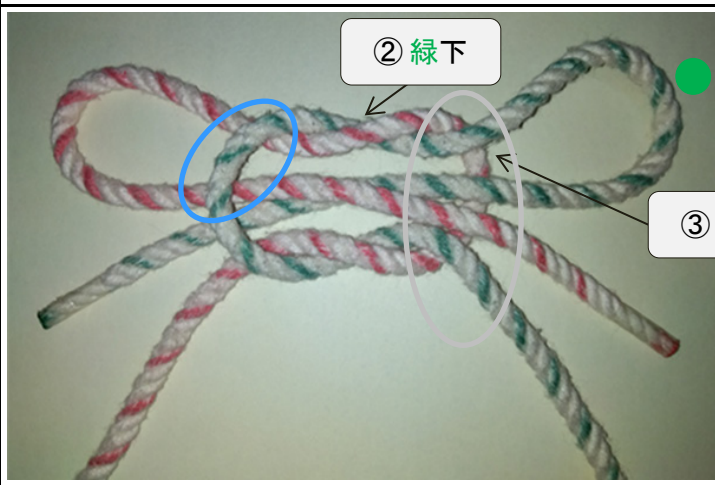




囃子(はやし)	ひきとけ むすび (引き解け結び)	セリフを入れてみる
<p>みぎうえ ばってん (つまんで)</p>		
<p>(わっかを) でんぐり こ♪ (おさえて)</p>		<p>おさえる指(ゆび) 右(みぎ)・左(ひだり) 交代(こうたい) する?しない? どっちが 次(つぎ)、動(うご)き やすいかな?</p> 
<p>(つまんで) ひっぱりん こ♪</p>		 

囃子(はやし)	はちのじむすび (8の字結び)	
<p>みぎうえ  <b>ば</b>ってん  (おさえて)</p>		
<p>くぐりん  <b>こ</b>♪</p>		
<p>もぐりん  <b>こ</b>♪</p>		<p>逆(さか)さにしたよ</p> 

囃子(はやし)	えび むすび (えび結び)		
<p>みぎうえ ばってん (おさえて)</p>		<p>海老(エビ)のようなそのむすび！ さては”十手持ち”だな (じつもち)</p> 	
<p>ぐるりん こ♪</p>			<p>さかさの8の字をえがくように</p> 
<p>(おさえ なおして)</p>		<p>人形(にんぎょう)の 襟(えり)を整(ととの)えるようにする</p>  <p>1回目(いっかいめ)の ばってん より 下(した)にする</p>	
<p>もいっかい ばってん (おさえて)</p>	<p>最初(さいしょ)の輪(わ)より 大(おお)きくする。</p> 		<p>ここでは、ぐるりん 2回まわしましたが、 3回でも4回でも かまいません。 ロープの長さによ っておこないます。</p>
<p>ぐるりん こ♪</p>		<p>最初(さいしょ)の輪(わ)へ 二本(にほん)まとめて押(お)し込(こ)む</p> <p>引(ひ)いてしめる</p> 	
<p>おしこむん こ♪</p>	<p>先(さき)っちょは 出(だ)しておく</p> 		 <p>裏側(うらがわ)</p>

囃子(はやし)	ほんむすび (本結び)	
<p>みぎうえ ばってん (おさえて)</p>	 <p>① みぎうえ ばってん</p>	
<p>ぐるりん こ♪</p>	 <p>さきつちよ さきつちよ</p> <p>② 赤上</p> <p>③ 赤下</p> <p>もと もと</p>	
<p>ひだりうえ ばってん (おさえて)</p>	 <p>① ひだりうえ ばってん</p>	 <p>ほんむすびは さきつちよが、 右(みぎ)も左(ひだり)も 同(おな)じように 出(で)ているんだね</p>
<p>ぐるりん こ♪</p>	 <p>② 緑下</p> <p>③ 緑上</p>	 <p>注目(ちゅうもく) おなじようになっている</p> 

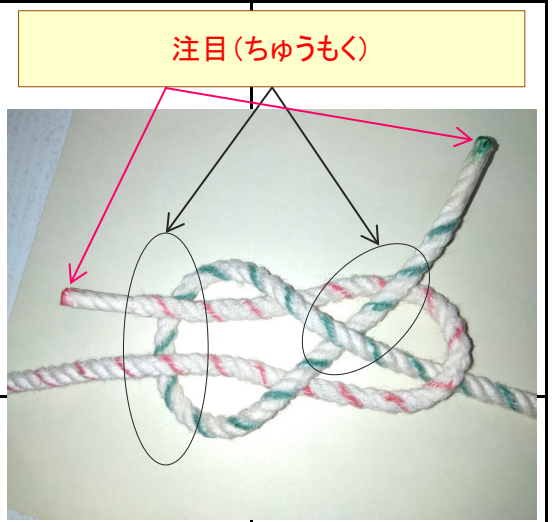
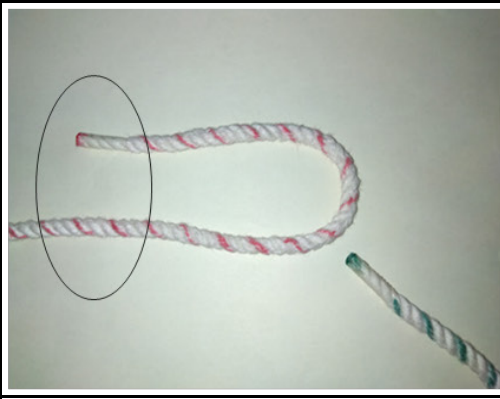
囃子(はやし)	はなむすび (花結び)	セリフを入れてみる
<p>みぎうえ ばってん (おさえて)</p>		
<p>ぐるりん ちょ♪</p>		<p>ほん結びとおなじように</p> 
<p>ひだりうえ ばってん (おさえて)</p>		
<p>ぐるりん ちょ♪</p>		<p>← ほん結びを引きとけにした</p>  



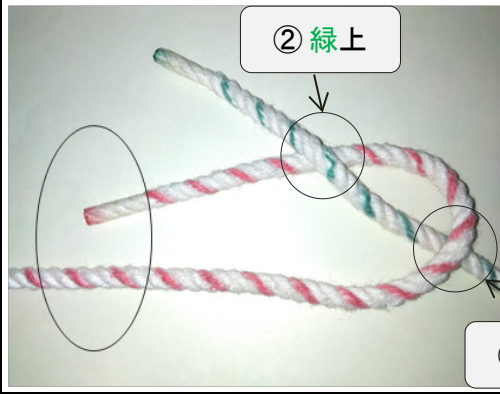
プレゼントなどの平(ひら)たいリボンで結(むす)ぶ花結(はなむす)びは、ちょっと結(むす)び方(かた)が違(ちが)うんだ♪

囃子(はやし)                      ひとえ つぎ (一重継ぎ)

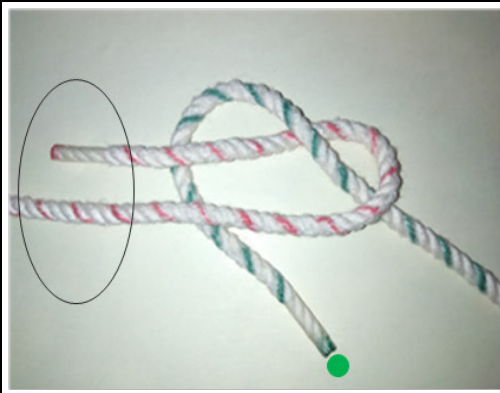
ひだりの  
さきつちよ♪  
う～えだよ♪



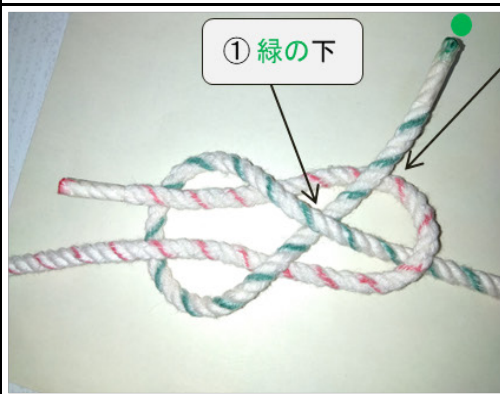
おみみを  
くぐって  
むこうだよ♪



そ～れ  
ぐるりん  
こ♪



そ～れ  
とおりん  
こ♪



みぎうえ ばってん	もとまわりん こ♪	はんたいも ばってん	もどりん こ♪

囃子(はやし) もやいむすび (舳い結び)

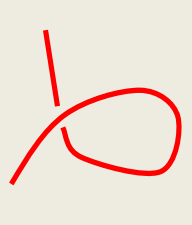
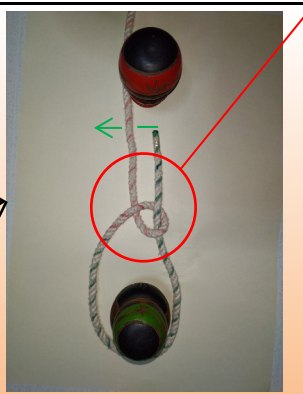
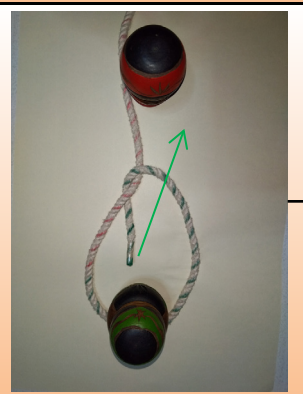
みぎうえ  
ばってん♪



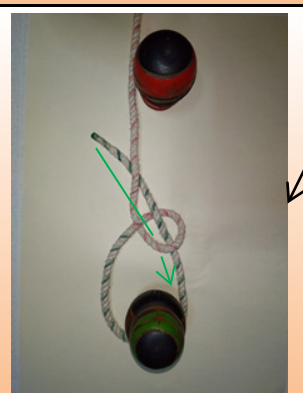
右手は  
左手より  
おへそがわ  
でばってん



ぐぐぐるっと  
へそりんこ♪



そ〜れ  
くぐりん  
こ♪



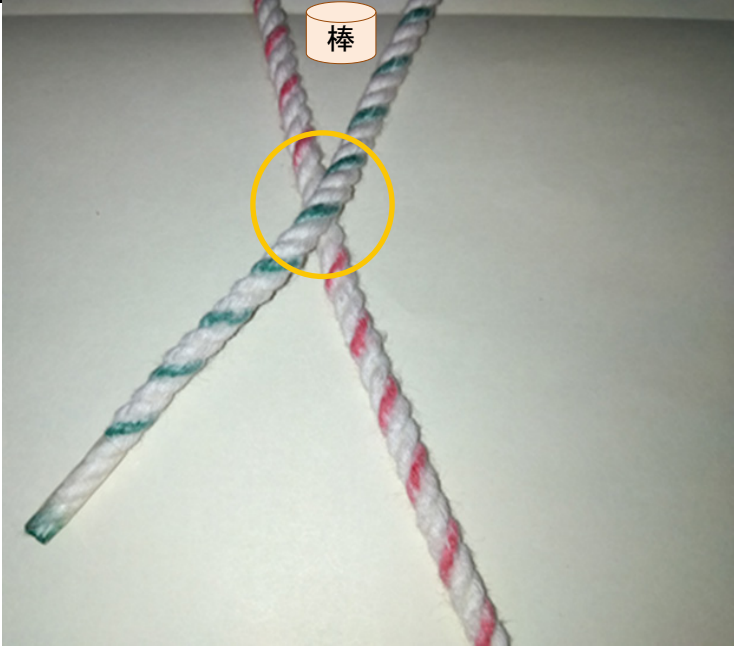


もどりん  
こ♪

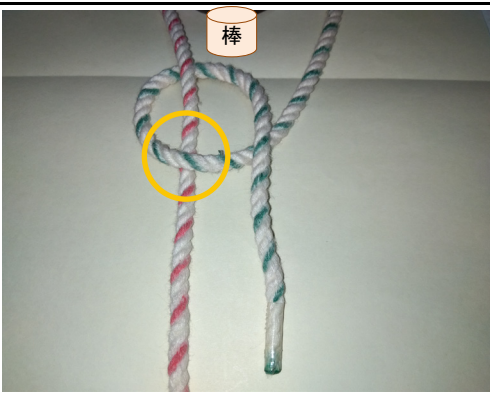






ふふふ とまどっているよね  
むすび方(かた)が ちがうのに  
鏡(かがみ)に  
映(うつ)したみたい♪  
もやいむすび ←→ ひとえつき



注:ロープの先(さき)っぽが抜(ぬ)けないように、最後(さいご)に、とめ結(むす)びなどをする。先(さき)は長目(ながめ)にあまらせるんだよ!

囃子(はやし)	ひとむすび (一結び)	
<p>みぎうえ  <b>ば</b>ってん♪  (おさえて)</p>		
<p><b>ま</b>わりん  こ♪</p>		
<p>そ〜れ  <b>と</b>とのえて  <b>き</b>ゅ♪</p>		

囃子(はやし)	ふたむすび (二結び)		
<p>みぎうえ ばってん♪ (おさえて)</p>			
<p>まわりん こ♪</p>			
<p>も いったい ばってん (おさえて)</p>		<p>フフフ 術(じゅつ)に かかったようだね♪</p>	
<p>まわりん こ♪</p>			
<p>そ〜れ ととのえて きゅ♪</p>			



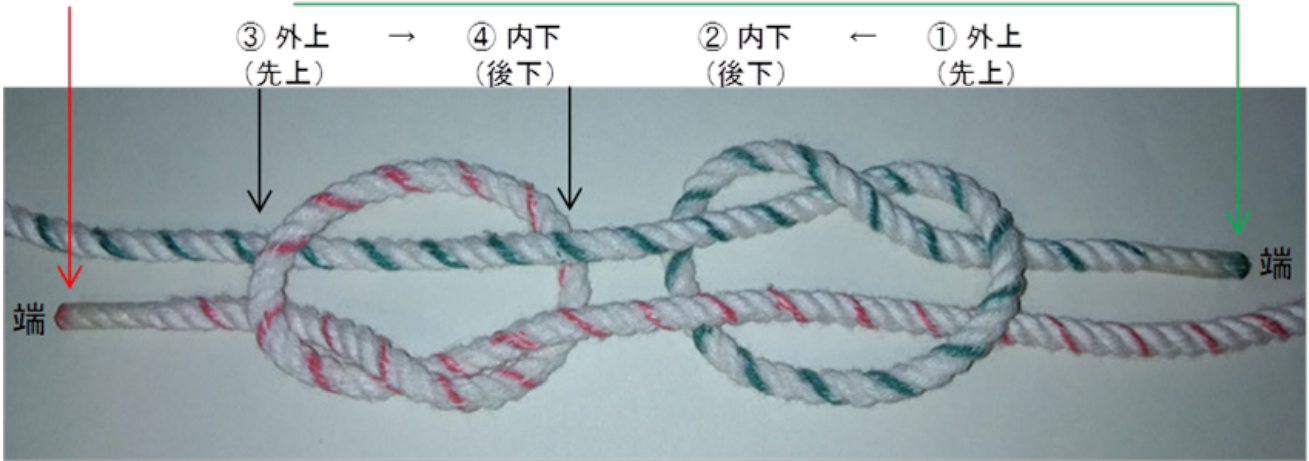
ひとつだけ  
なんだか  
違(ちが)うぞ♪

ヒント:組(く)み合(あ)わせ

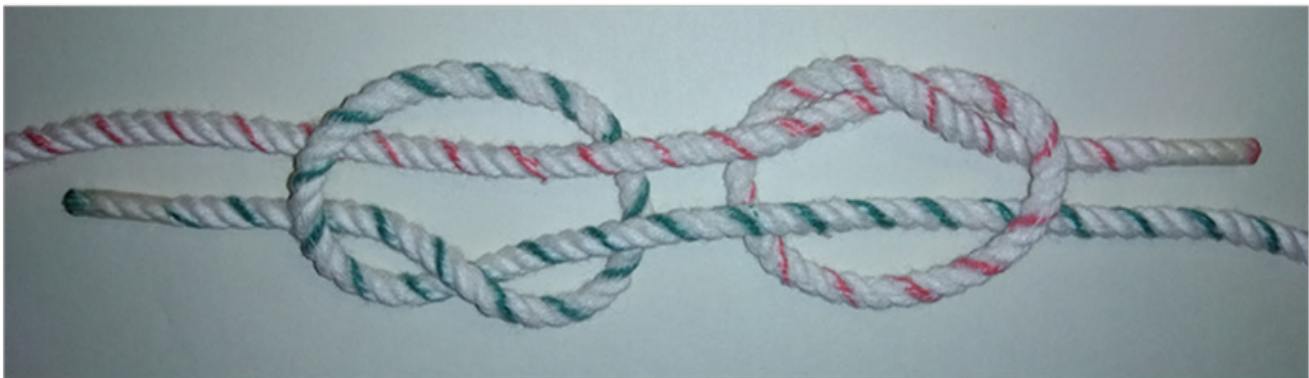


# とめ結びを使った電車結び(でんしゃむすび) / てぐすむすび

左の端を下 ・ 右の端を上にした場合 端が通るのは、外上→内下



てぐす結びは、180度回転させても同じになるように結ぶ



↓ ひっくり返(かえ)した



カブの集会(しゅうかい)で、  
ロープで大(おお)きな輪(わ)を使(つか)うときの結(むす)びよ♪  
ちゃんと結(むす)べているか、リーダーに見(み)てもらってから使(つか)ってね♪



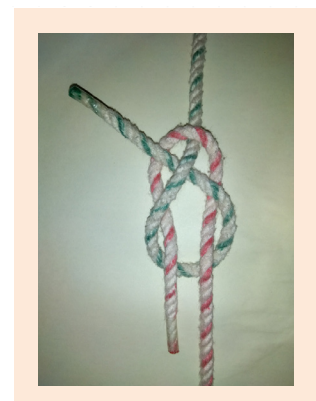
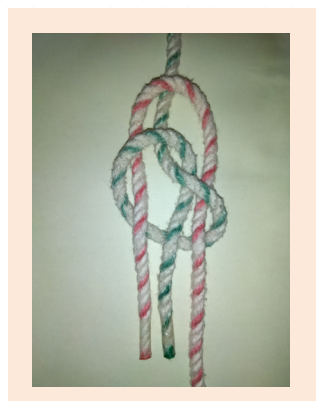
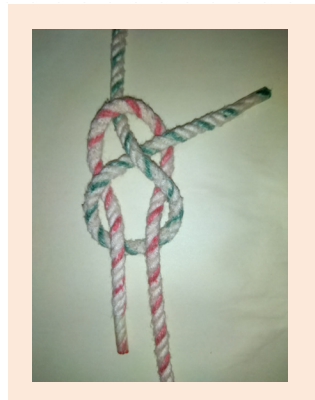
「ほんむすび」はど〜れだ♪  
ほんものはひとつだ♪



結(むす)んでくらべてみよう♪



「ひとえつぎ」はど〜れだ♪  
ほんものはひとつだ♪



# カブスカウトのための ちょっと難しい「からみ止め」を ちょっと簡単に・・・

## 準備

1. 端を処理したいロープ(カブスカウトのロープ)
2. セロテープ
3. はさみ
4. タコ糸(糸の太さ・・・端を処理したいロープの太さの1/10 ぐらい)



カブのロープだと1mmぐらい(ちょっと太めの方がしやすいかも)

100均で売ってるもので十分です。

長さは、ロープの太さ×1～1.5ぐらい巻きますので、20回ぐらい巻く程度の長さ

## 手順



「手順0」をするのは、カブ年代だと、巻きながら締めるのが難しいこともあり、できているようでも、ロープを使っているうちに、ほどけてしまうことがあります。  
セロテープで巻いておけば、そうなることも直ぐにほつれてしまう心配がありません。  
※テープは、案外セロテープの方が具合がいいです。

0. ロープにセロテープを巻く。(セロテープを巻いたところのその上に、以下のことをします。)

1. タコ糸を「引きとけ結び」します。短い方を引くと結び目が解けるような結びにします。

右の写真はタコ糸ではありませんが、引きとけ結びです。赤が先(端・・・短い方)

緑が元(長い方で、巻く側)

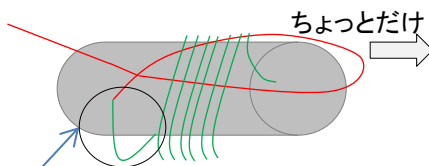


巻く際に、引きとけ結びの輪が少々ずれたりしても気にしない。

2. ロープの端に、先ほどの「引きとけ結び」をしたタコ糸をあてます。

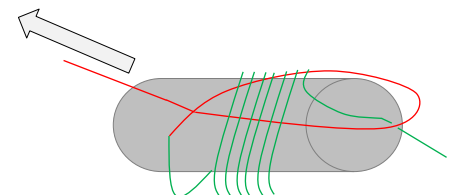
3. タコ糸の長い方を、引きとけ結びの輪とロープと一緒に巻いていきます。ぐるぐる巻いていきます。

4. ある程度巻いたら、引きとけ結びの輪に、タコ糸の長い方の先を通します。



こういう最初のところに隙間ができてしまった場合は、引きとけの輪の方を ちょっとだけ引いてやると解消します。

輪を縮め、引き込む

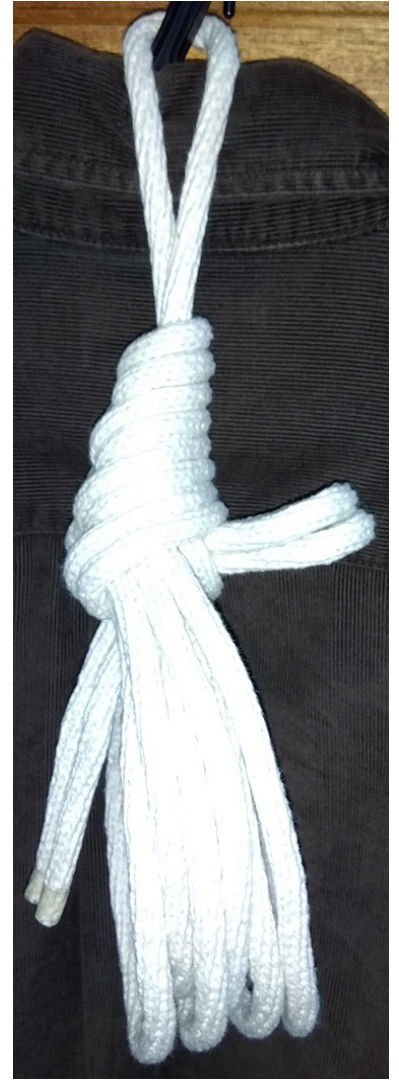


4. 最後にタコ糸の短い方を引いて、輪を縮め、巻いたところの中程まで引き込みます。

5. 余ったタコ糸は切ります。

おしまい

練習(れんしゅう)を終(お)えるたび、えび結(むす)びをして、ロープを片付(かたづ)けていたら...



”とめ結(むす)び”を 何度(なんど)も  
練習(れんしゅう)していたら  
指(ゆび)を使(つか)うのが  
上手(じょうず)になった♪

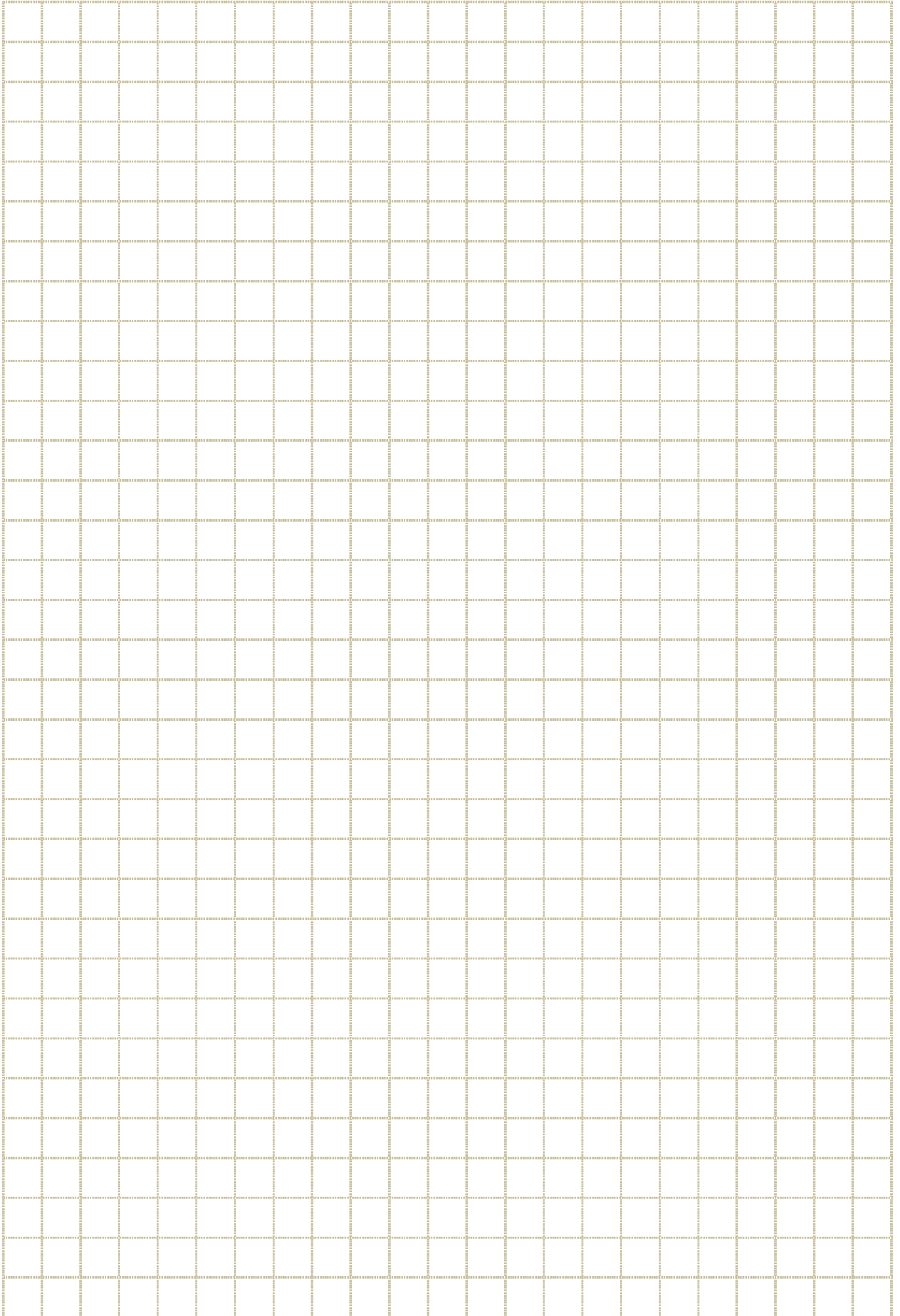
バスタオル  
はちまき  
うでぐみ  
あぐら  
あ！ そういうことか♪



どうやら彼(かれ)は 答(こた)えに  
気(き)が付(つ)いたようだね♪

P.13  
P.15







忍者(にんじゃ)だから  
目隠(めかくし)  
後(うしろ)手(で)  
どんな場合(ばあい)でも  
結(むす)べるんだ♪

